

# Raymond Academy

レイモンド学園だより No.40

2018年9月

「私は私を強くして下さる方によって、どんなことでも出来るのです。」

はじめまして。私の名前はリディア・ヒメネスです。私はメキシコの高校を今年6月に卒業し、現在レイモンド学園でボランティアとして奉仕するために来日しました。日本の学校の皆さんに、私の生徒としての経験からお証いたします。



私は小学1年生からACEスクールの生徒でした。4年生までは学校の生活はそんなに大変ではありませんでした。勉強は難しくなく、とても良い生徒として過ごしました。4年生の時、母が学校で教師として働き始めました。それ以来他の生徒や先生方が私を観察していると思うようになりました。私は何でも完璧にしなくてはならないと感じ始めました。母が私の教室の教師でしたから、私がデメリットをもらったり、宿題があることは隠せませんでした。初めはそれがとても嫌でしたが、次第にそれは決して嫌なことではないと理解するようになりました。

中学生になると教室が変わり、私もティーンエイジャーの一人として、そのような態度をとるようになりました。つまり、生意気になり、全てのことに対する態度が悪くなりました。学校に行きたくなく、宿題もやりたくなく、先生たちにも不満を表していました。そのような生徒だった経験から今の生徒たちに出来る私のアドバイスは、神様に新しい力をたずね求め、自分の態度や言葉を神様が支配して下さるように明け渡すことです。それを行わなければ、将来とても惨めな思いをすと思うと思います。事実私はそれを経験しました。

高校になると私は受ける全ての数学の試験に落ちるようになりました。とても失望して、自分が世界で一番数学の出来ない人間だと思い込みました。しかしある日母がこのように言いました。「あなたは、本当はとても優秀です。問題は自分を無能だと信じ込んでいることです。」この言葉によって自分の考え方を変える決心をしました。その後私は、実は数学をよく理解できることが分かりました。

このようなことから私は今日3つのポイントで生徒の皆さんを励ましたいと思います。

1つ目に、まず英語での学びを諦めないでください。とても大変なことは分かります。多くの時間を費やして沢山のことをしなければなりません。しかし小さなことでも忠実に積み重ねていくことは価値があることです。今はそれが分からなくても将来その結果を必ず見ることとなります。

2つ目に、どんなことにも積極的な見方と態度で取り組んで下さい。高校生時代は人生の中でも最善の時だと聞いたことがあります。勉強を怠らず、友達と沢山遊び、全てのチャンスを喜んで挑戦すれば後悔することは何もないはずですよ。

3つ目に、神様に信頼して自分を信じてください。自分に自信をなくすのではなく、思考を変えて、神様にあって可能だということを感じてください。自分に力がないと感じた

り、困難に遭遇したとき、ただ祈って神様が何と言われたかを思い出してください。  
「私は私を強くして下さる方によって、どんなことでも出来るのです。」(ペリピ 4:13)  
「天の下では、何事にも定まった時期があり、すべての営みには時がある。」  
(伝道者の書 3:1)

皆さんに神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

リディア・ヒメネス

**【報告】**

**2018年5月15日(火)～28日(月) International Student Convention**

米国インディアナ州で開催された国際生徒大会に高橋流香さん、高橋伊吹君が参加しました。今年は福島県若枝学園からも4名の生徒と教師が参加され、良い交わりを与えられました。生徒全員ベストを尽くしました。生徒大会前後に、シカゴ市街とクリエーション・ミュージアムの観光をしました。



**2018年6月4日(月) マレーシアのACEスクールから来客**

マレーシアのACEスクールの校長先生と生徒であるご息が短期滞在されました。マレーシアの学校の様子や国について学ぶ良い交わりの時となりました。



## 2018年6月22日(金) Honor Roll

東京スカイツリーや、すみだ水族館を訪れ、楽しいひと時でした。



## 2018年6月30日(土) Sports Fun Day

今年も川上小学校の体育館をお借りして、楽しい運動会を開催することができました。18人の生徒が2チームに分かれ「Royals」と「Olive」の団旗も立派に作成しました。毎年恒例のソーラン節や、新しく取り入れたポッチャや踊り付きの玉入れ、そして沢山の家族競技などにより、今年も新鮮な盛り上がりで沸きました。卒業生の参加もあり、大変嬉しく楽しいときでした。総勢76人の参加でした。



## 2018年7月6日(金) 全校遠足～太平洋放送協会&BFPJapan 頼基君派遣式出席～

太平洋放送協会を見学し、スタジオでラジオ放送体験などをしたあと、BFP 主催のハイナイトに出席し、7月からイスラエルへ派遣されるカポンポン頼基君の派遣式に参加しました。



## 2018年9月7日（金）東京基督教大学教授による出張授業

今回同大学からお招きした3回目のゲストスピーカーは森田哲也先生。「発展途上国の貧困について」と題して、全生徒を対象にお話しして下さいました。はじめの1時間は小学生もよく理解できる内容で、何故貧困がおきるのか、貧困とは何なのかを、ミャンマーの1人の少女の姿から知ることが出来ました。次の30分は中高生のみ対象で、貧困がもたらすものは何か、私たちに何が出来るのかということディスカッション方式で学びました。とても有意義なときとなりました。

## 2018年9月12日（水）韓国ハンドン大学 入学案内のため来校

CGNTVのご紹介で、韓国のハンドン大学より学生課の方が大学紹介の為に伺って下さいました。中学生以上の生徒が参加し、将来の選択肢の一つとして大きな刺激を得ることが出来ました。まだ受験を具体的に考え始めている中学生も参加しましたが、将来に対して夢を持ち、祈り始める機会となりました。



## 【チャペルタイム】

2018年9月4日 チャペル「正しい」Ⅱテモテ2：20～22

私たちは手を洗って汚れやばい菌を落としますが、実は、それをしているのは「私たち」ではありません。厳密に言うと、それは「石鹸」であり「水」です。しかし手をきれいにしようとしたのは「私たち」であり、そのために「石鹸」や「水」は使われます。

使徒パウロはテモテへの手紙第二2章21節で、「ですから、だれでも自分自身をきよめて、これらのことを離れるなら、その人は尊いことに使われる器となります。」と語ります。私たちは、自分で自分の罪をきよめることはできません。私たちは、私たちの罪ために十字架にかかれたイエス・キリストによって「洗淨」され、それによってきよめられるのです。

キリストを受け入れるなら、キリストの死と復活が、私たちを罪の報いと罪の力から解放してくれます。そして、正しくないことには「ノー」と言い、正しいことには「イエス」と言えるようになります。

(22)「肉の欲」、「若い時の情欲」には「ノー」と言い、「義」（正しい行い）と「信仰」（正しい信念）と「愛」（正しい対応）と「平和」（正しい目標）には「イエス」と言えます。

正しい考え方が、正しい生き方につながります。

私たちは常に準備をしておく必要があります。聖書はそうするようにと命じています。私たちは、いつでもよいわざを行うために、神様に用いていただくために準備をしておくことが必要です。

そのように準備をしているならば、神様は私たちを用いてくださいます。

私たちは何のために勉強をしているのでしょうか。なぜ日々聖書を読んでデボーションをするのでしょうか。

知性や霊性の準備を怠らず、日々肉体の健康にも配慮した生活をしていることは、すなわち、神にとって役に立つもの、あらゆる良い働きに備えられたものとなるのです。

神に喜んでいただける人生です。

今日を正しく生きてこそ、明日のための最善の準備ができます。

2018年9月18日 チャペル「正しい」

「真理の御霊が来ると、あなたがたをすべての真理に導き入れます」(ヨハネ 16:13)

シカゴ川は、本来の流れと上流と下流が逆です。100年以上前に人工的に流れを変えられました。

当時、シカゴ市民は、家庭の汚水や工場排水をこの川に流して、その行先はミシガン湖でした。ミシガン湖は市の飲料水の供給源だったので、多くの人たちが汚染された水を飲んで病気になったり、死んだりしました。

それで当局は、シカゴ川の流れを逆にして湖から水が流れ出るようにしました。

イエス・キリストの地上の生涯を考えると、人が期待する人生とは逆方向の人生に見えます。

栄光の王でありながら、弱い赤ん坊になられました。

人の肉体をとった神でありながら、神を冒瀆していると非難されました。

罪の無い唯一の人でありながら、犯罪者として十字架刑に処せられました。

このような人生でしたが、イエスは神のみこころに従って生きられました。

クリスチャンがイエスの姿勢や行動を手本にして生きるなら、人の目には逆方向に歩む人生のように見えるかもしれません。

敵を祝福し迫害する者のために祈る(ローマ 12:14、マタイ 5:44)

金持ちになることではなく敬虔に生きることを優先する(Iテモテ 6:6~9)

試練に遭ってもそれを喜びと思う(ヤコブ 1:2)

イエス様のためにいのちを失う者は、それを見いだす(マタイ 16:25)

世が教える常識や知識とは正反対のものです。

私たちの生き方が人々と逆向きだと言われても心配しないでください。

人の目からどうかではありません。神様の視点、聖書が何と言っているかが大切です。

神様を何よりも尊重しましょう。そして神様はそうする力をくださり前進させてくださいます。

今日、クリスチャンの心には道案内人が宿っています。それは、イエスが送ってくださった聖霊です。

2018年9月25日 チャペル「正しい」詩篇46:1~11

神様を知る。神様はどのようなお方か。

人類がこの5年間に生み出した情報は、それ以前の情報の総量を超えていると言われて  
います。情報は洪水のように私たちに向かって来ます。

私たちは常に新しい刺激を求める中毒にかかっているようにも見えます。

人の心は、色々なメディアから発信される情報や知識によって支配されがちです。

何が本当に正しい情報であり、私たちに健全に成長させるものであるかを吟味する必要が  
あります。

そのような時代に生きる私たちは、絶え間なく情報があびせかけられる今日の状況の中で、  
静まって考えたり、祈ったりすることは、益々困難になっています。

詩篇46篇10節は「やめよ。(口語訳:静まって)わたしこそ神であることを知れ。」と語  
り、神に心を集中させる時間を聖別する必要性を再認識させてくれます。

多くのキリスト者は、「静思の時」が毎日、不可欠だと考えています。それは聖書を読み、  
祈り、神の大きさを思い、神が良いお方であることを思うひとときです。

詩篇46篇の作者のように「神はわれらの避け所、また力。苦しむとき、そこにある助け」  
(1節)だという体験をする時、恐れは消え(2節)、私たちの視線は世の混乱から神の平  
安に移ります。そして、神がすべてを支配されているという静かな確信に浸ります(10節)。

どれほど世界が混沌としていても、父なる神の愛と御力の中で、私たちは静まり強められ  
ます。

私たちのごちゃごちゃした心と生活を、神様の前に持っていきましょう。

そこで、「どうぞ静まらせてください」そして「あなたこそ神であることを知ることができ  
ますように」と祈りましょう。

私たちは、毎日、静まって神に耳を傾けることが必要です。

## 【お祈りのリクエスト】

- ★9月30日（日）～10月9日（火）タイでの研修に出席するミゲル先生のために
- ★10月26日(金)に開催される ACE セミナーの祝福のため
- ★11月16日(金)に予定されている ACE スクール交流会の準備のために、また、幸いな時となるように
- ★8月に転校された大山希愛さん、愛心さんの新生活のために
- ★進学を控えている伊東恵太郎君、斎藤大陽君、濱田ななさんのために
- ★教師の健康が支えられ、その献身が主に喜ばれ主のご栄光を表すことが出来るように
- ★卒業生たちが進学先、就職先にて神様と共に歩み、主の証人として用いられるように